

case. 下関市
05 カフェ



病院



店舗



その昔、質屋の蔵だった場所ならではの
趣のあるリノベーション

🏠 リノベーション内容

Before



After



出入口の戸はガラス製から木製の戸に取り替えた。また、タイル張りの外壁の塗り替えを行った。

Before



After



天井のパネル張りを撤去した。腐食や害虫の被害があったため、基礎の改修をおこなった。

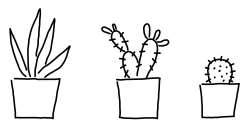
リノベーション ストーリー

renovation story

市が実施する中心市街地活性化事業の説明会に参加、そこで市内で町おこし活動をしている建築の団体に出会ったことがきっかけとなり、市の事業に参加することを決意しました。申込の結果、私たちの取組内容が採用されたため、空き家の改修を始めました。最初の1年間は、地域の活用拠点として1階部分をカフェとして営業しました。その後、未着手だった2階部分を自分たちで半年間掛けて改修を行い、翌年から障害者支援施設兼カフェとしてリニューアルオープンしました。もともと耳鼻咽喉科で街に親しまれた場所であり、当時通院していた方々が喜んで訪ねて来てくださいました。大家さんにも「建物が無駄にならなくてよかった」と喜んでいただき、利活用をしてよかったと感じています。



利活用までの スケジュール



schedule

● 2013.11	利活用する物件を決める
● 2013.11	市の事業に採用される
● 2013.12	詳細な打ち合わせを開始
● 2014.1	リノベーション開始
● 2014.5	リノベーション完了
● 2014.6	オープン

こだわりポイント



新しいものと古いものが絶妙に融合した空間

病院の受付で使用されていた石の1枚板をそのままカフェのカウンターで使用しました。床板とカウンター下の壁面のタイルは自分たちで塗装して使用しました。カフェの一角には改修当時は珍しかった黑板塗装を施し、どこか懐かしさを感じることができる空間を演出しました。また、病院の前は質屋の蔵として使用された建物なので、その雰囲気を残すようにしました。